

経営者のための「統合思考チェックリスト」を活用して

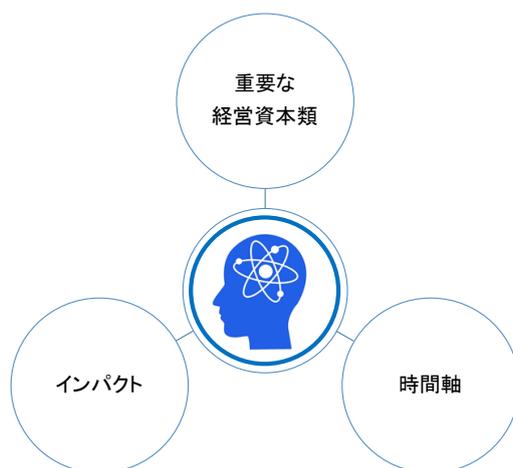
コロナ禍を乗り越えましょう！

新型コロナウイルスが世界的に拡大。
各国のリーダーシップのみならず
各企業のリーダーシップによる対応と成果でも明暗が分かれ始めています。

かつてのリーマンショック時と同様に
短期思考に陥る経営トップ。
一方で、長期視点でリーダーシップを発揮する経営トップもいます。

その違いの一つは、このような危機下であっても
「統合思考が機能しているかどうか」

「統合思考」とは
『重要な経営資本類の組み合わせとインパクトのバランスを考え、
時間軸上でプロットし価値を創り出すストーリーをデザインすること』
と RIDEAL は考えます。



今回のコロナ禍という未曾有の危機では特に陥りがちな短期思考。
そこから抜け出し、本来の長期経営の軌道に戻す一つのきっかけとして
「統合思考チェックリスト」がお役に立てれば幸いです。

(2020年5月1日)

統合思考チェックリスト

1

長期思考

中長期的に変わらない会社の目的（理念）を念頭に、**短・中・長期**にわけてリスクと戦略を特定できていますか？

短期思考に陥り「今期掲げた財務目標値（現在途上にある中計期間で準備した数字も含む）の達成を最優先する」といった「目先の利益」に囚われていないか確認し、思い切った見直しが必要か検討しましょう。

2

持続可能性

「BCP（事業継続計画）」「リカバリープラン」「クライシスマネジメント」があり、危機下においても会社にとっての「**最重要事項**」が守られるよう機能していますか？

常日頃から会社にとって「大切なこと」（＝失われると会社の存在意義をゆががすもの）が特定・認識・共有され、危機を想定したシナリオ作りができているか確認しましょう。

3

人的資本

人材の安全とモチベーションの維持を第一に対応し、新たな状況下における各人材の希望（やりたいこと）や能力（強み）を**タイムリーにモニター**できていますか？

人の安全や雇用の確保は、企業の価値創造の源泉であり生命線であることを改めて確認し最優先事項として取り組みましょう。人の能力や意欲は目に見えて明らかなものでないことが多く、特にリモート環境では把握が困難になるため特に重視し、コミュニケーションや評価法について検討しましょう。

4

社会的課題の解決を起点とするビジネスモデル

アフターコロナにおける**新たな社会的課題の特定**、およびそれら課題解決を起点とするビジネス創出機会について議論がなされていますか？

危機下で生まれる新たな社会課題への感度を高めましょう。その際、自社のターゲット層と関連する社会課題を明確にし、自社の価値創造能力（強み）が活かせる社会課題の領域を特定しましょう。社会課題解決型の新しいビジネスモデルの構築に役立てましょう。

5

インパクトとトレードオフ

財務価値と短期的には財務価値が犠牲となりうる**社会的価値**のトレードオフ（両立しない関係性）を短・中・長期の観点から俯瞰してとらえ、中長期的視点で経営の意思決定が行われる体制がとられていますか？

異なる時間軸で2つの価値の関係性を見てみると、短期的（特定の一時点）には一見トレードオフの関係のようであっても、長期の時間軸で捉えてみると相互補完的な関係性である場合があります。異なる時間軸間で思考の往復運動を行い、それら二つの価値をいかに両立させていくかを検討しましょう。